令和８年６月１日

暴力団壊滅久留米市民総決起大会

只今ご紹介いただきました、久留米警察署長の那須でございます。

令和８年度暴力団壊滅久留米市民総決起大会の開催にあたり、ご挨拶申し上げます。

まず、本日御参加いただきました皆様におかれましては、日頃から、安全で安心な久留米市を実現するため、弛まぬ努力を続けておられますこと、心より敬意を表しますとともに、久留米警察署の様々な取り組みに対し、御理解と御協力をいただいておりますこと、厚くお礼申し上げます。

さて、最近の暴力団情勢についてでございますが、全国の指定暴力団２５団体のうち、福岡県内には５団体が存在し、その１つが久留米市を拠点とする「道仁会」であります。

「道仁会」にあっては、皆様方のこれまでの地道で粘り強い活動によりまして、構成員は、最盛時であった平成２１年頃に比べると、半数以下になるなど、皆様と共に行ってきた暴力追放活動の成果が表れているところであります。

しかしながら、道仁会の壊滅には、いまだ道半ばの状況にあります。

道仁会は、一昨年６月１０日、四代目会長から五代目会長へと代替わりを行い、組織の刷新、拡大を図っており、過去には、跡目争いに端を発し、浪川会と長年にわたり、抗争事件を繰り返し敢行しています。

最近では、昨年５月、道仁会組員らによる強盗致傷事件、同年７月には暴力団事務所における監禁事件、同年９月には久留米市内の暴力団事務所内における拳銃使用事件を敢行し、本年１月には、道仁会傘下組織の組長等による恐喝、傷害事件を検挙しており、この様に、手段・方法を選ばない卑劣な事件を立て続けに引き起こしています。

さらに道仁会は、匿名・流動型犯罪グループ、通称「トクリュウ」と呼ばれる、ニセ電話詐欺や強盗、闇バイトに関与する集団を巧みに使い、直接自らの手を汚すことなく、悪質な犯罪を敢行しています。

特に、暴力団等の資金源となっているニセ電話詐欺においては、警察官や親族等を語った、「ニセ警察詐欺」や「オレオレ詐欺」が横行しており、県下における昨年の認知件数は２，０００件、被害額は約１３５億円と、認知件数、被害額、検挙件数共に、過去最多を記録しています。

久留米警察署管内におけるニセ電話詐欺の被害について、昨年の

認知件数は６０件、被害額は約５，５億円であり、本年４月末時点では、既に認知件数１８件、被害額は約１，５億円となっております。

久留米警察署では、引き続き、「道仁会」の壊滅に向けて、徹底した取り締まりを行っていく所存であります。

また、道仁会の資金源として利用されるおそれのある繁華街への対策につきましても、目下、悪質な客引き行為の取り締まりなどを強化しており、市民の皆様が安心して繁華街を訪れることができるように取り組んでいるところであります。

久留米警察署といたしましては、皆様方の前面に立って、暴力団と対峙してまいります。

暴力団の存在しない「安全で安心な久留米市」を実現するためには、皆様方の御支援と御協力は欠かすことのできないものであります。

どうか皆様方におかれましても、暴力団排除に向けた意思を堅持していただきまして、暴力団や違法行為に関する情報は、些細と思われるものであっても、久留米警察署にお寄せいただきますよう、よろしくお願いいたします。

「暴力団は決して許さない、暴力団には決して屈しない」「暴力団を久留米市から追放する」という揺るぎない決意の下、警察、行政、

そして市民の皆様とが一体となり、これからも、暴力団排除に向けた各種取り組みを粘り強く継続してまいりましょう。

結びになりますが、本日、ご参加の皆様方の御健勝・御多幸と、久留米市からの暴力追放が、さらに大きく進展致しますことを心より祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

久留米警察署長

那須　重人